

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 原田工業株式会社

コード番号 6904 URL <http://www.harada.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 原田 章二

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員

(氏名) 佐々木 徹

TEL 03-3765-4321

四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	9,820	17.8	407	67.3	395	12.7	229	46.5
26年3月期第1四半期	8,333	12.6	243	—	350	—	156	△72.9

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △62百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 771百万円 (△30.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	10.56	—
26年3月期第1四半期	7.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	32,429	12,000	37.0	551.70
26年3月期	32,411	12,281	37.9	564.59

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 12,000百万円 26年3月期 12,281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,900	2.1	550	△16.0	450	△36.5	300	△11.8	13.79
通期	36,000	△1.3	1,050	△21.5	850	△39.8	550	△56.2	25.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	21,758,000 株	26年3月期	21,758,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	5,434 株	26年3月期	5,434 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	21,752,566 株	26年3月期1Q	21,753,990 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では個人消費や生産の持ち直しなどにより緩やかな拡大が続いており、欧州では世界金融危機以降続いた市場混乱は落ち着きつつあり、持ち直しの兆しもみられるものの、足元での景気の回復は緩やかなものにとどまっております。アジアにおいては、中国では個人消費が堅調に推移しており、輸出は持ち直してはいるものの、回復のペースは緩やかなものにとどまっております、アセアン地域では外需の弱さによる影響もあり、総じて足踏み状態となっております。

日本国内経済につきましては、企業収益は改善しており、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎつつあり、景気は緩やかな回復基調が続いております。

先行きにつきましては、世界経済は、一部に弱さがみられるものの、総じて緩やかな回復が見込まれます。日本国内経済は、経済対策の効果などによる景気の回復が期待されますが、米国の金融緩和縮小による影響、新興国市場の動向、ウクライナの政情不安などによる経済への影響も懸念されます。

当社グループの属する自動車業界におきましては、自動車生産台数は、北米、欧州、中国、日本では増加しております。一方、アセアン地域では減少となりました。

このような状況のもと、自動車用アンテナ及び付帯機器の拡販活動を引き続きアジア新興国市場並びに日・米・欧成熟市場を中心に進めてまいりました。また、日本アンテナ株式会社より譲り受けた事業と開発・生産・販売等の各領域での収益体質の強化に取り組み、シナジー効果を高めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は拡販活動及び為替の影響などにより98億20百万円（前年同期比17.8%増）となりました。利益面につきましては、売上の増加及び売上原価率の改善による売上総利益の増加及び販管費率の改善などにより営業利益は4億7百万円（同67.3%増）、経常利益は為替差損を計上したこともあり3億95百万円（同12.7%増）、四半期純利益は2億29百万円（同46.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

輸出が減少したものの、自動車生産台数の増加により、外部売上高は30億52百万円（同7.0%増）、セグメント間の内部売上高は10億24百万円（同6.5%増）、営業利益は原価率及び販管費率の上昇により1億85百万円（同43.8%減）となりました。

②アジア

中国市場及びアセアン市場での拡販活動並びに為替の影響等により、外部売上高は24億98百万円（同34.3%増）、セグメント間の内部売上高は35億86百万円（同19.1%増）、営業利益は原価率の改善等により84百万円（前年同期は営業損失63百万円）となりました。

③北中米

米国及びメキシコの市場回復傾向及び為替の影響等により、外部売上高は32億84百万円（前年同期比14.5%増）、セグメント間の内部売上高は14百万円（同60.8%減）、営業利益は1億15百万円（同58.0%増）となりました。

④欧州

欧州市場は低迷しましたが、拡販活動及び為替の影響等により、外部売上高は9億84百万円（同31.0%増）、セグメント間の内部売上高は11百万円（同158.3%増）、営業損失は16百万円（前年同期は営業損失12百万円）となりました。

なお、セグメントの売上については外部顧客に対する売上高とセグメント間の内部売上高を記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループは財務体質の改善目標として営業利益率など収益性の改善ももちろんのことですが、当社グループの課題である経営の安全性を高めるため、有利子負債の削減、たな卸資産の圧縮、自己資本の充実等に努めてまいりました。この結果、次のとおりの財政状態となりました。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、255億76百万円（前連結会計年度末252億87百万円）となり、2億89百万円増加いたしました。

主に、「商品及び製品」が1億24百万円減少し、「受取手形及び売掛金」が3億99百万円、「現金及び預金」が1億40百万円増加いたしました。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、68億52百万円（前連結会計年度末71億24百万円）となり、2億71百万円減少いたしました。

主に、「投資その他の資産」が2億15百万円減少いたしました。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、182億6百万円（前連結会計年度末177億76百万円）となり、4億30百万円増加いたしました。

主に、「その他」に含まれる「未払金」が5億19百万円、「その他」に含まれる「未払法人税等」が4億86百万円減少し、「短期借入金」が11億35百万円増加いたしました。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、22億21百万円（前連結会計年度末23億54百万円）となり、1億32百万円減少いたしました。

主に、「長期借入金」が1億16百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、120億円（前連結会計年度末122億81百万円）となり、2億80百万円減少いたしました。

主に、「為替換算調整勘定」が3億5百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期連結業績予想につきましては、平成26年5月19日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,407,711	6,548,162
受取手形及び売掛金	7,309,390	7,708,652
商品及び製品	5,207,444	5,082,660
仕掛品	510,673	621,581
原材料及び貯蔵品	3,702,168	3,600,608
その他	2,165,437	2,030,454
貸倒引当金	△15,209	△15,349
流動資産合計	25,287,616	25,576,769
固定資産		
有形固定資産	4,574,825	4,541,259
無形固定資産	393,733	370,883
投資その他の資産		
その他	2,158,062	1,942,625
貸倒引当金	△2,405	△2,405
投資その他の資産合計	2,155,657	1,940,219
固定資産合計	7,124,216	6,852,363
資産合計	32,411,832	32,429,133
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,777,234	3,998,930
短期借入金	8,460,866	9,596,046
1年内返済予定の長期借入金	2,560,000	2,596,666
賞与引当金	313,910	466,696
役員賞与引当金	49,800	8,375
その他	2,614,363	1,540,036
流動負債合計	17,776,174	18,206,752
固定負債		
長期借入金	1,680,000	1,563,333
退職給付に係る負債	266,274	249,807
その他	408,149	408,324
固定負債合計	2,354,424	2,221,464
負債合計	20,130,598	20,428,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,181	2,019,181
資本剰余金	1,859,981	1,859,981
利益剰余金	8,593,001	8,605,156
自己株式	△1,818	△1,818
株主資本合計	12,470,345	12,482,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,862	29,766
為替換算調整勘定	△145,911	△451,479
退職給付に係る調整累計額	△61,063	△59,871
その他の包括利益累計額合計	△189,111	△481,584
純資産合計	12,281,233	12,000,915
負債純資産合計	32,411,832	32,429,133

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	8,333,679	9,820,814
売上原価	6,361,692	7,406,120
売上総利益	1,971,986	2,414,694
販売費及び一般管理費	1,728,624	2,007,449
営業利益	243,362	407,244
営業外収益		
保険解約返戻金	—	39,391
為替差益	121,896	—
その他	21,335	34,323
営業外収益合計	143,232	73,715
営業外費用		
支払利息	32,287	34,733
為替差損	—	39,023
その他	3,576	12,034
営業外費用合計	35,863	85,791
経常利益	350,730	395,168
特別利益		
固定資産売却益	368	2,458
特別利益合計	368	2,458
特別損失		
減損損失	2,844	5,459
固定資産売却損	309	2,891
その他	149	106
特別損失合計	3,303	8,457
税金等調整前四半期純利益	347,796	389,169
法人税、住民税及び事業税	142,359	58,980
法人税等調整額	48,636	100,508
法人税等合計	190,995	159,489
少数株主損益調整前四半期純利益	156,801	229,680
少数株主利益	—	—
四半期純利益	156,801	229,680

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	156,801	229,680
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,759	11,903
為替換算調整勘定	611,900	△305,568
退職給付に係る調整額	—	1,191
その他の包括利益合計	614,660	△292,473
四半期包括利益	771,461	△62,792
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	771,461	△62,792
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	2,853,778	1,860,164	2,867,909	751,826	8,333,679	—	8,333,679
セグメント間の内部売上高又は振替高	962,282	3,012,139	37,935	4,268	4,016,625	△4,016,625	—
計	3,816,061	4,872,304	2,905,844	756,094	12,350,305	△4,016,625	8,333,679
セグメント利益又は損失(△)	331,065	△63,704	73,334	△12,295	328,400	△85,038	243,362

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△85,038千円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、今後の使用見込みがたたない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「日本」が2,844千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	3,052,766	2,498,527	3,284,720	984,798	9,820,814	—	9,820,814
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,024,953	3,586,354	14,854	11,024	4,637,186	△4,637,186	—
計	4,077,720	6,084,882	3,299,574	995,823	14,458,000	△4,637,186	9,820,814
セグメント利益又は損失(△)	185,924	84,521	115,852	△16,893	369,405	37,838	407,244

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額37,838千円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、今後の使用見込みがたたない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、「日本」が5,459千円であります。